

令和5年度

事業報告書

特定非営利活動法人 First Step

1 事業の成果

令和5年度（令和5年4月1日より令和6年3月31日まで）は豊島区高田、および新宿区高田馬場を主な活動場所として事業を展開した。

事業展開するにあたり、会としての指針を明確にするため、Mission、Vision、Valueを決めるところから今年度は始まった。

その指針に基づき、各事業の展開を行った。

・不登校・ひきこもりの親と子のグループ討論会に関する事業

① オンライン参加者+直接会場参加者合同でのハイブリッド型勉強会を行った。

Zoomと360度カメラ、プロジェクターの導入により、遠隔地の方、仕事により直接参加できない方に加え、ひきこもりに理解ある第三者、専門家、ピアサポートー等が気軽に参加できるようになった。

② 今までブログ形式であった会のホームページから、プロボノワーカーの協力により、正式な固定型ホームページに移行できたこと、さらに12月の██████████のひきこもり・不登校の講演会が大変好評であったことなどの効果で、利用会員数が徐々に増えだした。そのために、従来の勉強会の会場（会議室2つ利用）が狭くなったので、あらたに会場を新宿NPO協働推進センターに移し、会議室を3つ利用し、3室同時に並行して開催することになった。

③ 専門家も公認心理師だけでなく、社会福祉士、パーソナルトレーナー、福祉系研究者、不登校・ひきこもりを専門とする大学教授、精神科看護師、などの多岐にわたる専門家が参加することになり、様々な観点からのアドバイスができるようになった。

④ 本事業を長年続けてきたが、当事者の社会復帰を目指していく中で、別途にひきこもりの家族を精神的にケアする必要性があると以前から考えていた。そこで、今年度後半から公認心理士の主導でオンラインによるオープンダイアローグ（主に、3~4人によるリフレクティングワーク）を試行的に進めている。来年度から、正式に、本事業の一環として当会の当事者家族、さらには悩めるひきこもりを持つ外部家族の方々を主な対象とする、心のゆとりが持てることを目指すオープンダイアローグサービスを始める予定である。

・親たちによる家庭相互訪問事業

今年度は1度行われた。本来は当事者とは会わずに実施する事業であるが、今回は結果的に当事者自らすすんで参加することとなり、家庭内に外部の風を入れるという試みは大成功であった。

・不登校・ひきこもりの子に対する訪問支援事業

今まで、ほぼ無償ボランティアベースであった事業であるが、本年度から有償ベースにて徐々に活動を始めた。そのことにより、長期にわたる、より当事者に寄り添った支援が可能になった。また、直接訪問のみならず、LINE チャットなどを使ったオンライン支援も始めた。この事業は、徐々に拡大しており、今後、会の中で事業として大きな割合を占めるものになると思われる。

・情報提供・発信および提言に関する事業

- ① 会のホームページは以前から更新しやすいブログ型ホームページにて展開していたが、よりわかりやすく、社会的信頼性の高いコーポレートサイトを作成することになった。作成に当たっては、プロボノ募集を行い、結果的に 1 名の方が我々の Web 技術スタッフとして参加することになり、その方を中心に作成を開始し、8 月 31 日に完成公開した。
- ② 12 月に開催した [REDACTED] のひきこもり講演会のために区の広報紙、SNS、ホームページ、チラシの発行、により広範囲に PR を行った。同時に、会のリーフレットを作成し、困っている家族の皆さんに我々の存在を知っていただくよう幅広く配布を行った。
- ③ 11 月 26 日、27 日 第一回としま中高年ひきこもり等生きづらさ合同相談会に出展団体として参加し、会の存在を PR することができた。
- ④ 12 月 17 日に第一回社会的孤独・孤立に関する合同相談会に出展団体として参加し、新宿区に 22 年以上前から新宿区に存在する家族会として PR を行った。
- ⑤ 1 月に新宿区立新宿 NPO 協働推進センターの協力で「ひきこもり・不登校の解決は家族会から始めましょう」と題し、講演動画を作成、YouTube にて一般公開した。
- ⑥ 従来、新宿区はひきこもり相談窓口として決まったものが特になく、ひきこもりなどで困った区民は、それに関して相談できるであろうと思われる多岐にわたる相談窓口の中から、自ら判断して選択した上、出向かなければならなかった。その体制は、他の行政区に比べて遅れており、問題であると我々は判断し、地道にロビー活動をおこなって『窓口の明確化、一本化』を強く提言してきた。結果として、苦労の甲斐があり 11 月 1 日に区の福祉部にひきこもり相談窓口が設置された。

・不登校・ひきこもりの子に対する居場所づくり事業

コロナによる減ってしまった参加者は今年度においても相変わらず少なかったが、参加者の多寡にかかわらず、必ず実施するということに努めた。また、参加者数の問題について、開催場所、開催時間帯に問題があると考えており、来年度は場所、時間帯の変更を行い、寄り集まりやすい居場所に改善する予定をしている。なお、来ていただけた当事者は若い女性が多かった。

・その他目的を達成するために必要な事業

- ① 11 月 26 日に日本保健医療行動科学会のオンライントーク講演会にて「不登校・ひきこもり親の会の活動から『社会的健康』を考える」と題して講演を行った。
- ② 12 月 3 日に令和 5 年度、地域における孤独・孤立対策に関する NPO 等の取組モデル調査（内閣官房）採択事業の東京・西部地域、第一回社会的孤独孤立（ひきこもり等）の中央地域実践報告会に新宿区担当としてオンラインにて出演した。

- ③ 12月9日に今年度は新宿区の協働推進基金一般事業助成金を利用して、新宿区立四谷地域センターにおいて [REDACTED] のひきこもり、およびオープンダイアローグに関する講演を行った。一般参加者85名に対してアンケートを実施し、76人から回答があったが、満足度80%以上とした方が93.4%とかなり高く、講演会としては大成功であった。また、2月には講演会の動画をYouTubeにて一般公開した。
- ④ 12月10日に新宿区立戸塚地域センターにて新宿区の協働推進基金一般事業助成金を利用して、個別ひきこもり・不登校無料相談会を実施した。
- ⑤ 12月17日に令和5年度、地域における孤独・孤立対策に関するNPO等の取組モデル調査（内閣官房）採択事業の東京・西部地域、第一回社会的孤独孤立（ひきこもり等）に関する合同相談会に新宿区の家族会として出展した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【2,435】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
不登校・ひきこもりの親と子のグループ討論会に関する事業	不登校・ひきこもりの子をもつ親及びその子と、経験ある親と自立支援専門家を交えたグループ討議、および相談事業	令和5年 4月9日 5月14日 6月11日 7月9日 8月13日 9月10日 10月8日 11月12日 12月3日 令和6年 1月14日 2月11日 3月10日 活動時間 は13時か ら17時	豊島区高 田3-14-9 KDXビル3 階大会議室お よび小会議室 または新宿 NPO協働推進 センター会議 室	13人	不登校・ ひきこも りの当事 者、及び その家族	405人	1,524
親たちによる家庭相互訪問事業	家庭内に他人の風を入れて雑談をすることで、雰囲気を変える	12月29 日、4時間 ほど滞在	新宿区のある家庭	4人	親子	3人	24

不登校・ひきこもりの子に対する訪問支援事業	不登校・ひきこもりの子に対して、まだ直接訪問できない場合、SNS やメールなどの間接的訪問により、信頼関係を築いていく。 または、直接訪問して関係を築く	通年	各家庭	5人	不登校・ひきこもりの当事者、及びその家族	37人	139
情報提供・発信および提言に関する事業	ホームページなどによる不登校・ひきこもりについての情報提供・発信および提供	通年	Web 上	2人	一般市民	不特定多數	60
不登校・ひきこもりの子に対する居場所づくり事業	理解ある大人が中心となって、不登校、ひきこもりの子が、ありのままの自分で受け入れてくれる空間をと目指す居場所であり、さらに、新しい人間関係をつくり、自立していく準備をする居場所をつくる	令和5年 4月12日 4月26日 5月10日 5月24日 6月14日 6月28日 7月12日 7月26日 8月9日 8月23日 9月13日 9月27日 10月11日 10月25日 11月8日 11月22日 12月13日 12月27日 英和6年 1月10日 1月24日 2月14日 2月28日 3月13日 3月27日	新宿区 高田馬場 1-14-9.	1~4人	不登校・ひきこもりの当事者	40人	241

その他目的を達成するため必要な事業	日本保健医療行動科学会（オンライン）にて講演	令和5年 11月26日	Web上	1人	健康科学系、社会科学系の研究者、専門職	30人	10
	東京・中央地域、第一回社会的孤独孤立（ひきこもり等）に関する実践報告会（オンライン）出演	令和5年 12月3日	Web上	1名	千代田区 中央区 港区 新宿区 の区民	50人	3
	[REDACTED] ひきこもり・不登校講演会開催	令和5年 12月9日	新宿区立四谷 地域センター	12名	新宿区民 と一般参加者	85人	400
	個別ひきこもり・不登校無料相談会開催	令和5年 12月10日	新宿区立戸塚 地域センター	4人	新宿区民 の当事者 家族	12人	25
	東京・西部地域、第一回社会的孤独孤立（ひきこもり等）に関する合同相談会出展	令和5年 12月17日	北とぴあ1階 展示ホール	2名	練馬区、 板橋区、 北区、 豊島区、 文京区、 杉並区 の区民	100人	9

事業報告用

令和5年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人 First Step

(単位：円)

科 目	金額	小計・合計
(A) 総 常 収 益		
1 受取会費 正会員受取会費 賛助会員受取会費		0
2 受取寄附金 受取寄附金 施設等受入評価益 ボランティア受入評価益	68,000 93,000 1,161,600	1,322,600
3 受取助成金等 受取補助金	465,000	465,000
4 事業収益 不登校・ひきこもりの親と子のグループ討論会に関する事業 不登校・ひきこもりの子に対する訪問支援事業 その他目的を達成するために必要な事業	651,000 75,600 98,000	824,600
5 その他の収益 受取利息 雑収入	4 100,000	100,004
総 常 収 益 計		2,712,204
(B) 総 常 費 用		
1 事業費 (1) 人件費 給料手当 役員報酬 退職給付費用 福利厚生費 諸謝金 ボランティア評価費用	231,240 362,040 1,161,600	1,754,880
(2) その他経費 諸謝金 消耗品費 施設等評価費用 広告宣伝費 印刷製本費 会議費 雜費 業務委託費 賃借料	120,000 324,312 93,000 44,420 39,006 17,800 19,072 11,606 11,600	680,816
事業費計		2,435,696
2 管理費 (1) 人件費 役員報酬 給料手当 退職給付費用 福利厚生費		0
(2) その他経費 印刷製本費 会議費 通信運搬費 研修費 消耗品費 諸会費 租税公課 支払手数料	3,190 25,955 45,758 48,600 87,988 13,000 600 3,201	228,292
管理費計		228,292
総 常 費 用 計		2,663,988
当期 総 常 増 減 額 (A) - (B) . . . ①		48,216
(C) 総 常 外 収 益		
固定資産売却益		
総 常 外 収 益 計		0
(D) 総 常 外 費 用		
固定資産売却損 災害損失		
総 常 外 費 用 計		0
当期 総 常 外 増 減 額 [C] - [D] . . . ②		0
税 引 前 当 期 正 味 財 産 額 ① + ② . . . ③		48,216
前期繰越正味財産額 . . . ⑤		593,498
次期繰越正味財産額 ③ - ④ + ⑤		641,714

令和5年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 First Step

(単位：円)

科 目	金額	小計・合計
(A) 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	777,365	777,365
未収金		
棚卸資産		
流動資産合計 ・・・①		777,365
2 固定資産		0
(1) 有形固定資産		0
車両運搬具		
什器備品		
(2) 無形固定資産		0
ソフトウェア		
借地権		
(3) 投資その他の資産		0
敷金		
長期貸付金		
固定資産合計 ・・・②		0
【A】資産合計 ①+②		777,365
(B-1) 負債の部		
1 流動負債		
前受金	81,651	135,651
短期借入金	54,000	
流動負債合計 ・・・③		135,651
2 固定負債		0
固定負債合計 ・・・④		0
負債合計 ③+④		135,651
(B-2) 正味財産の部		
前期繰越正味財産額	593,498	
当期正味財産増減額	48,216	
正味財産合計		641,714
【B】負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】		777,365

令和5年度 計算書類の注記 事業報告用

特定非営利活動法人 First Step

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準 協議会）によっています。

(1) 消費税等の会計処理

計算書類の作成は、税込方式によっています。

(2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は「3. 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳」に記載しております。

(3) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しております。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	ひきこもり・不登校 勉強会事業 事業	家庭相互訪問事業	訪問支援事業	情報提供・ 発信および 提言事業 事業	居場所事業	その他の必 要な事業事 業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益									
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 受取寄附金	840,600	24,000	79,200	60,000	241,200	9,600	1,254,600	68,000	1,322,600
3. 受取助成金等	184,000	0	0	0	0	281,000	465,000	0	465,000
4. 事業収益	651,000	0	75,600	0	0	98,000	824,600	0	824,600
5. その他収益	100,000	0	0	0	0	0	100,000	4	100,004
経常収益計	1,775,600	24,000	154,800	60,000	241,200	388,600	2,644,200	68,004	2,712,204
II 経常費用									
(1) 人件費									
給料手当	70,000	0	47,440	0	0	113,800	231,240	0	231,240
講師謝礼金	350,000	0	12,040	0	0	0	362,040	0	362,040
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボランティア評価費用	777,600	24,000	79,200	60,000	211,200	9,600	1,161,600	0	1,161,600
人件費計	1,197,600	24,000	138,680	60,000	211,200	123,400	1,754,880	0	1,754,880
(2) その他経費									
講師謝礼金	0	0	0	0	0	120,000	120,000	0	120,000
施設等評価費用	63,000	0	0	0	30,000	0	93,000	0	93,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	19,072	19,072	0	19,072
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	3,201	3,201
印刷製本費	0	0	0	0	0	39,006	39,006	3,190	42,196
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	45,758	45,758
広告宣伝費	0	0	0	420	0	44,000	44,420	0	44,420
会議費	12,800	0	0	0	0	5,000	17,800	25,955	43,755
研修費	0	0	0	0	0	0	0	48,600	48,600
会議・利用費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	247,738	0	0	0	0	76,574	324,312	87,988	412,300
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	13,000	13,000
水道光熱費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	3,000	0	0	0	0	8,600	11,600	0	11,600
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	600	600
業務委託費	0	0	0	0	0	11,606	11,606	0	11,606
経常費用計	326,538	0	0	420	30,000	323,858	680,816	228,292	909,108
当期経常増減額	251,462	0	16,120	-420	0	-58,658	208,504	-160,288	48,216

3. 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法
学研Lスタッフング会議室の無償利用	93,000	過年度の有償使用実績に基づき算定

4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法
ボランティアスタッフ人件費	1,161,600	単価は東京都の最低賃金によっています

令和5年度 財産目録

特定非営利活動法人 First Step

(単位：円)

名	目	金額	小計	合計
【A】資産の部				
1 流動資産				
現金預金			777,365	
手元現金		43,333		
三菱UFJ銀行普通預金		326,074		
GMOあおぞら銀行普通預金		407,958		
未収金			0	
棚卸資産			0	
流動資産合計	・・・①			777,365
2 固定資産				
(1) 有形固定資産				0
(2) 無形固定資産				0
(3) 投資その他の資産				0
固定資産合計	・・・②			0
【A】資産合計 ①+②				777,365
【B-1】負債の部				
1 流動負債				
前受金			135,651	
令和6年度勉強会会費等		54,000		
短期借入金				
役員借入金		81,651		
流動負債合計	・・・③			135,651
2 固定負債				
長期借入金			0	
固定負債合計	・・・④			0
【B-1】負債合計 ③+④				135,651
【B-2】正味財産合計 【A】 - 【B-1】				641,714

令和5年度年間役員名簿

(前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿)

特定非営利活動法人 First Step

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ) 氏名	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
1	理事・監事	イワサキ ハルヒコ	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		岩崎 晴彦		
2	理事・監事	オバタ カズユキ	令和5月5月20日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		小畠 和幸		
3	理事・監事	アリマ ユカシ	令和5月5月20日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		有馬 由嘉史		
4	理事・監事	イズミ ノリヒト	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		泉 紀人		
5	理事・監事	マスザワ タダシ	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		増澤 忠		
6	理事・監事	ヨコミゾ アイコ	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		横溝 愛子		
7	理事・監事		年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
8	理事・監事		年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
9	理事・監事		年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日

社員名簿(社員のうち10人以上の者の名簿)

特定非営利活動法人 First Step

	氏名
1	岩崎 晴彦
2	泉 紀人
3	増澤 忠
4	横溝 愛子
5	原田 哲伸
6	廣瀬 洋子
7	小畠 和幸
8	有馬 由嘉史
9	永田 幸子
10	岩崎 幸代
11	岩崎 健
12	小畠 麦秋